

2021年度 事業報告書

特定非営利活動法人 関西生活文化研究会おでかけ

I 事業期間

2021年4月1日～2022年3月31日

II 事業の成果

1 福祉有償運送事業

福祉有償運送では、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ大きく、外出を控える風潮によって、利用実績は増加せず前年度と同程度でした。

2021年度に予定していた2つの取り組みのうち、一つ目の「活動エリアの限定による短距離利用の増回」は、移送回数の増加と総額の移送収入の減少で実施できました。二つ目の「枚方市NPO活動応援基金補助事業」の取り組みでは、地域の通いなれた理髪店での散髪を再開する等の成果がありました。なお、事業による直接の成果だけでなく、当会の活動を広める効果を発揮し、利用申込や活動への参加申し込みが増えています。

また、2018年度から続けている「寄付月間」の取り組みでは、2021年度は初めて車両購入ではなくICT機器の整備を目標にしました。通信機能を使った運行管理システムを実現する機器の整備を目指し、134000円の寄付を賜ることができました。これまで保管してきた寄付金と合わせて、今年度中に運行管理体制を整備していきます。

2022年度は、福祉移送サービスに係る固定費を、運賃のような変動する収入に頼らない方法で工面することを検討していきます。

また、今度こそ外出の自粛が次第に緩和することを想定し、再度「枚方市NPO活動応援基金」からの補助事業「要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業」に取り組みます。

また、今年度からは福祉有償運送においてもアルコール検査の義務化があるため、これも、ICTを活用した運行管理システムで同時に対応できるよう推し進めていきます。

その他、枚方市共同配車センターに協力して、高齢者・障がい者の移送事業をおこないました。

2 訪問介護事業

訪問介護では、毎月約230人程度の要介護者への支援を行いました。今期は引き続き入浴・排泄・食事の介助の利用申込が続いているため、利用実績は去年と同程度です。通院外出に係る訪問介護サービスでは、介助のために駐車した車から離れる必要のある支援が増加しています。件数としては前年と同様で、利用実績は横ばいです。

今期予定していた取り組みのうち、定期的訪問サービスの増加は、増減しつつ予定通り進んでいます。しかし午後にまだ余力があるため、来期も同様に注力していきます。

また、枚方市内の訪問介護事業所として、2017年度から引き続き「第一圏域元気づくり地域づくり会議」のメンバーに職員を1名派遣し、2011年度から引き続き「枚方市訪問介護事業者会」の運営メンバーにも職員を1名派遣しています。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

- (1) (事業名) 福祉有償運送
(内 容) 高齢や障害によって移動に制約のある方の外出支援
(実施場所) 枚方市北部及びその周辺地域
(実施日時) 月～金の9時～18時
(注) (祝祭日、12月30日～1月3日、8月13～15日を除く)
(事業の対象者) 枚方市内在住か、外出の目的地が枚方市内にある移動制約者
(収 入) 運賃等、会費、寄附金等
6,677,779円
(支 出) 車両費、リース料、燃料費、保険料、通信費等
8,839,217円
- (2) (事業名) 訪問介護事業
(内 容) 高齢や疾病等により要介護となった方への訪問介護サービス
(実施場所) 枚方市北部及びその周辺地域
(実施日時) 月～土の7時～22時
(事業の対象者) 事前に訪問介護サービスの利用契約を結んでいる要介護者
(収 入) 介護給付費、利用者負担、公費負担等
55,636,268円
(うち、介護給付費・公費が48,715,677円)
(支 出) 人件費、福利厚生費、地代家賃等
53,245,971円

Ⅳ 社員総会の開催状況

通常総会

- (日 時) 2022年6月17日(金) 19時00分から19時30分
(場 所) 法人事務所
(社員総数) 13名
(出席者数) 13名(うち委任状出席者7名)
(内 容) 第1号議案 2021年度 事業報告書等 について
第2号議案 2022年度 事業計画等 について
第3号議案 役員改選 について

上記の議案について説明し、審議の結果原案通り承認されました。